

# 教育普及事業

## 講演会

- ◆文化講演会「南部と伊達の女たち」  
11月3日(月・祝) 午後1時30分～3時 講堂  
講師:聖和短大助教授 菊池慶子氏
- ◆冬期文化講演会  
平成16年2月5日(木) 午後1時30分～3時 講堂

## 講座・セミナー

- ◆県博日曜講座  
4月20日(日)～16年3月21日(日) 午後1時30分～3時  
毎月第3日曜日 講堂
- ◆古文書解説会  
5月24日(土)～16年2月28日(土) 午後1時30分～3時30分  
毎月第4土曜日 10回 教室
- ◆美術工芸品セミナー「漆と漆器の鑑賞」  
5月25日(日)、6月1日(日) 2回 教室
- ◆夏期博物館セミナー  
6月7日、14日、21日、28日(すべて土) 4回 会場:紫波町
- ◆秋期博物館セミナー  
10月11日(土)～11月1日(土) 午後1時30分～3時  
毎週土曜日 教室
- ◆民俗講座  
12月7日(日) 午後1時～4時
- ◆伝統芸能鑑賞会「盛岡万歳」  
16年1月25日(日) 午前11時、午後1時30分 2回
- ◆文化財等取扱講習会  
16年2月4日(水)～6日(金) 対象:市町村文化財担当職員
- ◆民俗セミナー  
3月20日(土・祝) 午後1時30分～3時

## 観覧会・見学会

- \*特に断りがない限り、現地集合・解散です。保険料、一部負担金等が必要な場合もあります。
- ◆春の自然観覧会  
6月1日(日) 午前9時～午後3時 新里村源兵衛平
  - ◆秋の自然観覧会  
9月28日(日) 午前10時～午後3時 雫石町竜川山
  - ◆第45回地質観覧会  
7月6日(日) 午前10時～午後3時 北上市和賀町菱内
  - ◆第46回地質観覧会  
9月14日(日) 午前10時～午後3時 田野畑村菅窪 田野畑鉱山
  - ◆天体観覧会  
8月23日(土) 午後7時～9時30分 芝生広場
  - ◆文化遺産現地見学会  
11月15日(土) 一関市・千厩町 バス代一部負担
  - ◆展示解説会  
日曜日を除く毎日 午後1時30分～2時30分

## 土曜日は博物館へ!

- ◆ミュージアムトーク  
4/26(土)～毎月第2・4土曜日 午後2時

## ◎児童生徒対象

- ◆ミュージアムシアター  
第1土曜日 午前・午後
- ◆一日学芸員体験  
第3土曜日 午後1時30分～3時30分
- ◆チャレンジ!博物館  
第5土曜日 随時

## 体験教室



毎週日曜日 受付午後1時  
約1時間30分 参加無料  
小学生向き 20名程度  
※希望者多数の場合は抽選を  
する場合があります

さまざまな遊びやもの  
作りを体験して、昔の暮  
らしや身のまわりの自  
然にふれてみましょう。

### 《年間プログラム》

4月	6日 こはくの玉づくり 13日 はんこづくり 20日 体験!測量★◎ 27日 ろうそくづくり	10月	5日 すずきのみみずく 12日 火おこし★ 19日 葉っぱのメッセージカード 26日 脱靴
5月	4日 からくりこいのほり★ 11日 板がえし★ 18日 昔コピー(拓本) 25日 さきおり風コースター	11月	2日 宝石づくり◎ 9日 わくわく動物ランド◎ 16日 土器のよりひもづくり 23日 土器づくり
6月	1日 ポヨヨンボールをつくらう 8日 わら馬★ 15日 そめもの 22日 化石のレプリカづくり 29日 入浴剤をつくらう	12月	30日 ろうそくづくり 7日 えとづくり 14日 まつぼりのクリスマスツリー 21日 しめ飾りリース★ 28日 (休館)
7月	6日 セタかざり 13日 ステンドグラスで暑中見舞い 20日 竹の水でっぽう 27日 水中のフシギな生き物◎	1月	4日 (休館) 11日 みずきだんご 18日 万華鏡 25日 ガラス玉づくり★◎
8月	3日 竹トンボ※ 10日 クレヨンをつくらう◎ 17日 氷の結晶 24日 こはくの玉づくり 31日 せっけんづくり	2月	1日 鬼は外 福は内 8日 竹スキーで遊ぼう 15日 土偶づくり 22日 昔のはかり◎ 29日 おひなさま
9月	7日 (休館) 14日 チャグチャグ馬コ※ 21日 ちょんまげかつら 28日 かこづくり	3月	7日 スライム 14日 木の皮であむー輪押し※ 21日 月ごよみ◎ 28日 不思議なふるしき

★:ややむずかしいプログラム(小学校4年生以上向き)  
◎:当館学芸員指導プログラム ※:外部講師指導プログラム

※詳しくはお問い合わせ下さい。年間予定・募集要項等があります。

### ●利用案内●

開館時間:午前9時30分から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)  
休館日:月曜日(休日は開館し、翌平日休館)  
9月1日から10日(資料整理日)  
12月28日から1月4日(年末年始)  
入館料:大人300円(140円)、学生140円(70円)、高校生以下無料。  
【( )内は20名以上の団体割引料金】



岩手県立県博物館だより 第97号 平成15年4月1日

編集・発行 岩手県立博物館  
財団法人岩手県文化振興事業団  
〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷34  
TEL.019(661)2831/FAX.019(665)1214  
http://www.pref.iwate.jp/~hp0910

# 岩手県立 博物館 だより

Newsletter of the Iwate Prefectural Museum  
岩手県立博物館ホームページアドレス  
http://www.pref.iwate.jp/~hp0910/

# 2003.4 No.97

目次/表紙写真「アゴヒゲアザラシ」  
平成15年度の事業案内特集  
平成15年度の展覧会 P.2～3  
平成15年度の講座・セミナー・観覧会・見学会などP.4



アゴヒゲアザラシ(Erignathus barbatus)

日本近海産アザラシ類中の最大種で、体長2.5m内外、  
体重395kg内外で、昨年から物議をかもしている話題の  
アザラシ。一様な灰褐色であるが、ときには雄に不鮮明  
な大白斑があり、オステンアザラシ(雄点の意)の異名が  
ある。前肢の第三肢(中肢)は他より長く、縦状鬃は扁平で  
なめらか。アザラシ類の乳頭は1対のみであるが、例外的  
にアゴヒゲアザラシは2対の乳頭をもっている。この標  
本のアザラシは、2歳ほどの幼獣でメス。警戒心が強い。  
平成13年度購入  
(テーマ展「新取蔵資料展—アザラシとゆかいな仲間たち—から」)

■テーマ展・企画展

平成15年度の展覧会

テーマ展 佐々木藍田 —金沢金山の絵師—

3月4日(火)～5月5日(月・祝)

江戸後期の山田町や大槌町で活躍した絵師・佐々木藍田の足跡をたどります。江戸時代の鉱山技術を伝える絵巻『金沢御山大盛之図』をはじめ、浮世絵や文人画の模写、花鳥の写生などの下絵類や絵図、藍田の生業であった染物に用いた型紙などを展示します。



金沢御山大盛之図(大槌町・佐々木亮平氏所蔵)

■展示解説会

4月29日(火・祝)午後1時30分から

第52回企画展 南部と伊達

10月7日(火)～11月9日(日)

広大な面積を有する岩手県には、地域によって様々な文化の違いをみることができます。県北と県南の方言や慣習などの違いは、江戸時代の南部氏と伊達氏の支配期に確立したものと いえます。

本展では、南部氏と伊達氏が遺した甲冑や武具、絵画や工芸品などから、それぞれの文化の違いを考察し、古文書や古絵図などを通じて藩政の特色を比較します。

■展示解説会

10月13日(日) 午後1時30分から

■文化講演会 「南部と伊達の女たち」

11月3日(月・祝)午後1時30分～3時

講師:聖和短大助教授 菊池慶子氏



テーマ展 新収蔵資料展

—アザラシとゆかいな仲間たち—

5月27日(火)～7月6日(日)



平成13年度以降、当館が新たに収集した未公開資料を中心に展示します。生物分野は話題のアゴヒゲアザラシをはじめとする剥製標本、地質分野は中生代の魚類化石など、考古分野は県内でも最古級と言われる土偶や貝鳥貝塚ほか研究史上重要な資料、歴史分野は刀剣や金田一京助にまつわる資料など、民俗分野は手織の温もりを伝える当地のホームスパン製衣類など、約200点の資料を紹介いたします。

テーマ展

夏休み!自然探検大図鑑

7月23日(水)～8月31日(日)



自然保護や環境問題を考えるには、まず野外に出て生き物とふれあいながら自然を知ることが何よりも大切です。このテーマ展では、ホトトギスやコノハズクなどの夏鳥、カブトムシやクワガタ・カミキリムシといった昆虫、夏に咲く花など、夏休みに出会える生き物たちの姿をじっくりとご覧ください。また、捕虫網からテントまで、観察や野外生活に必要な用具を展示し、野外の動植物を調べる方法をわかりやすく解説します。スズメバチ、マダニなどの刺す虫をはじめ、クマや毒蛇、毒草など野外の危険な生き物のコーナーもあります。会期中には学芸員と一緒に博物館の外に出かけて、昆虫採集や自然探検をするイベントも行います。

このテーマ展を自然について楽しく学び、考えるきっかけにしてください。今年の夏休みは野山に出かけよう!



テーマ展 花巻人形展 —愛玩と美—

平成16年3月2日(火)～5月5日(水)



江戸時代～明治時代を中心に全国約150ヶ所で製作され、庶民に愛でられた土人形。中でも、当地の花巻人形は精巧な造形と鮮やかな色彩を特徴にもち、優品として広く知られています。花巻人形には、桃の節供をいどころひな人形のほか、歌舞伎や説話の登場人物、動物、日常生活の一場面など1,000点を越える種類が確認され、そのひとつひとつに当時の世相を垣間見ることができます。本展では当館が所蔵する約450点の花巻人形を中心に、県内の土人形を紹介いたします。人形の姿が物語る岩手の歴史と文化をじっくりとご覧ください。

